



# 函館市における医療・介護連携について

～函館市医療・介護連携支援センターの役割～

令和2年9月15日  
要約筆記登録員研修会

公益社団法人 函館市医師会  
函館市医療・介護連携支援センター

社会福祉士

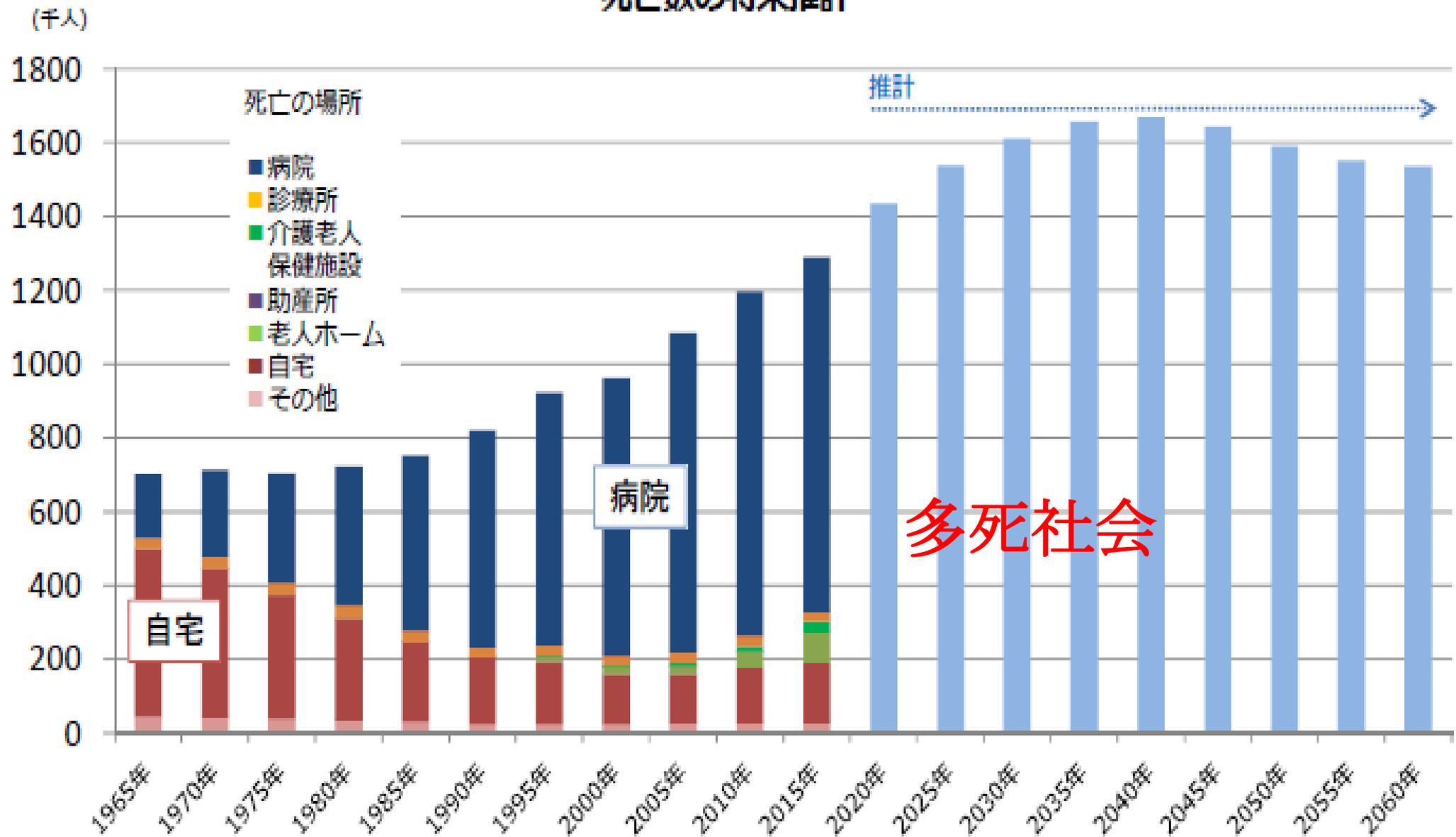
八重樫 優

# 本日の話題提供内容

- ①医療と介護の連携が求められる理由  
(在宅医療の推進)
- ②函館市医療・介護連携支援センターとは



# 死亡数の将来推計

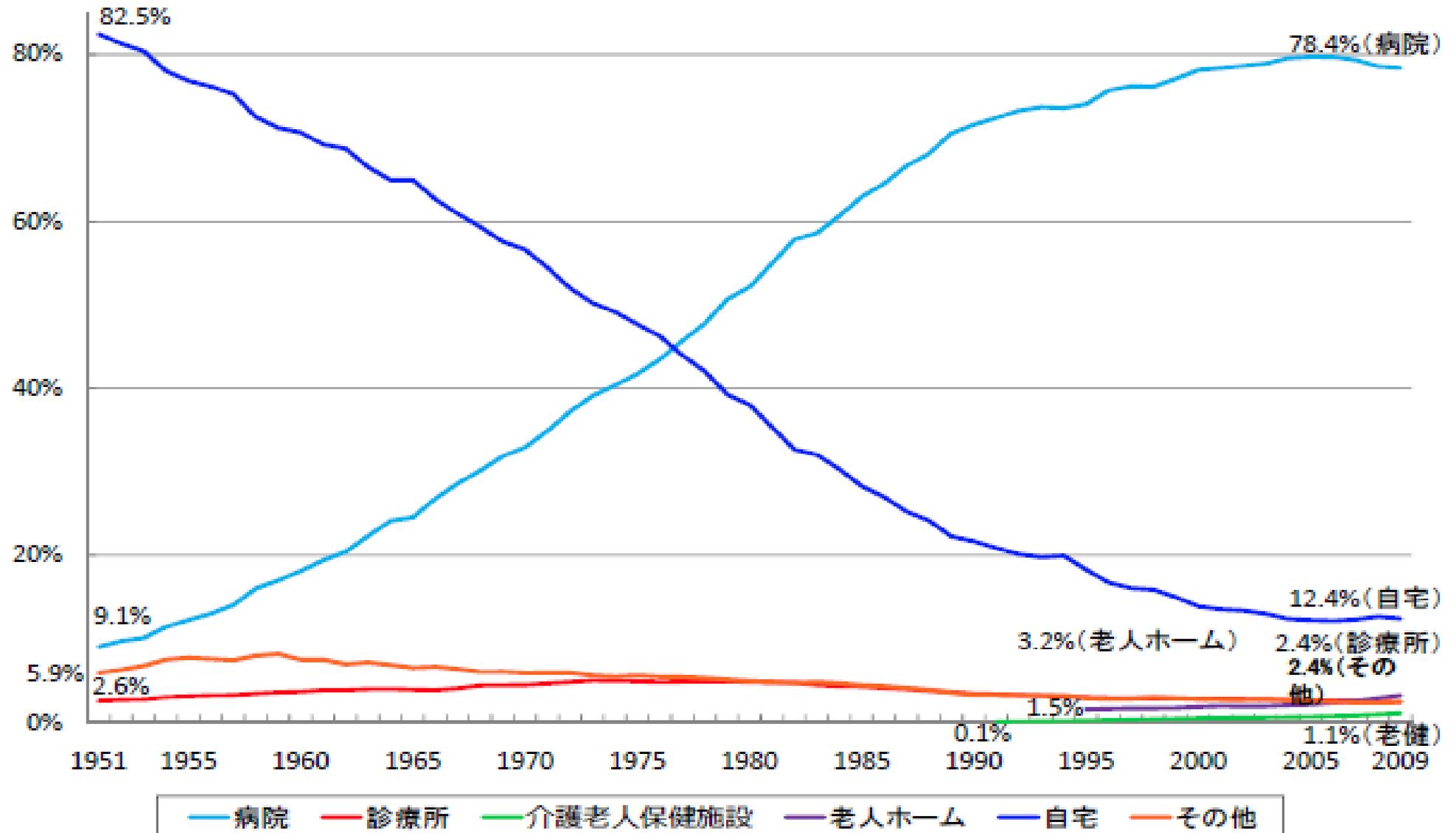


※注：1990年までは、老人ホームでの死亡は、自宅又はその他に含まれる。

出典：2015年以前は厚生労働省「人口動態統計」による出生数及び死亡数（いずれも日本人）

2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

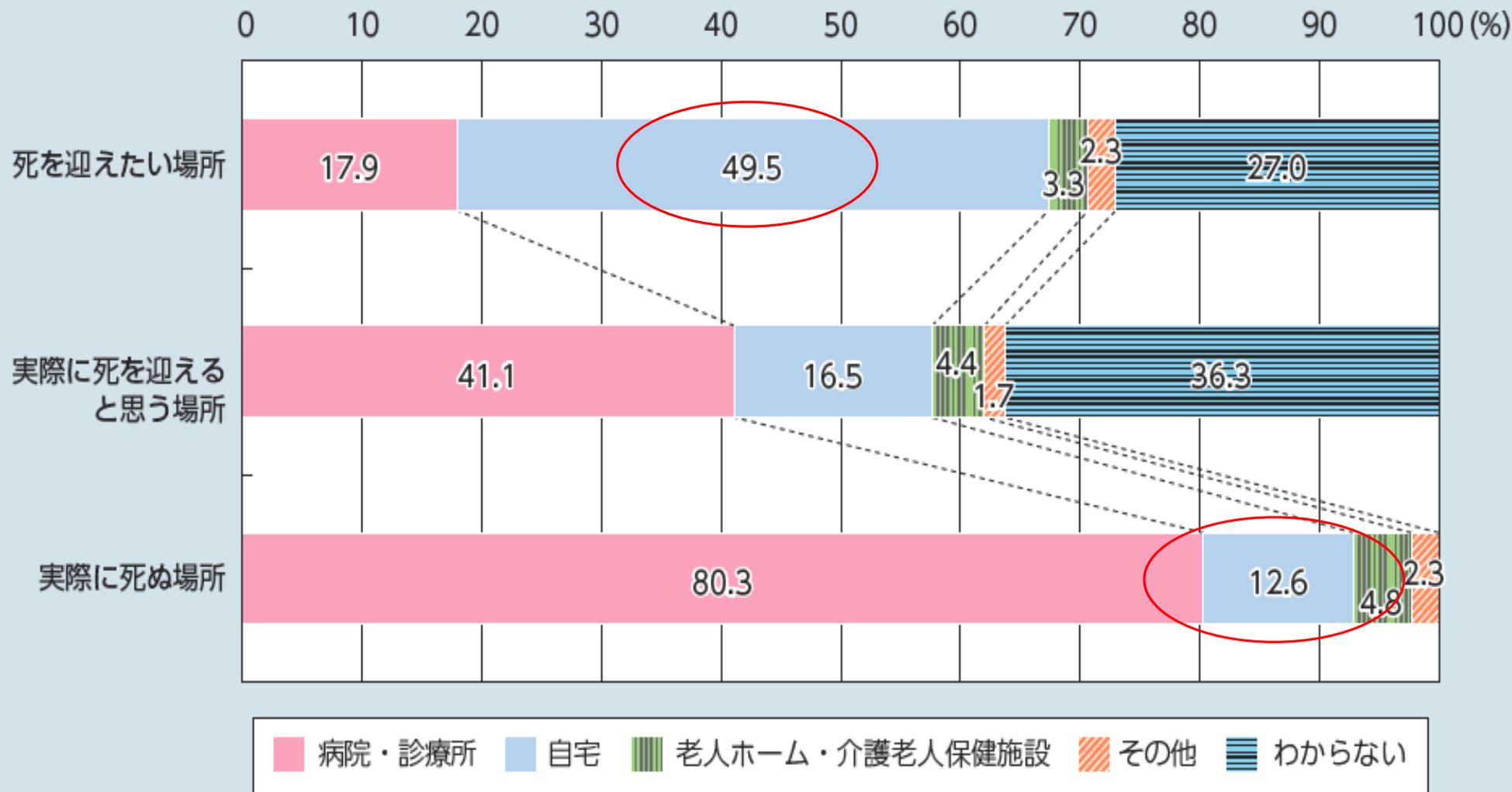
# 死亡場所の推移



※1994年までは老人ホームでの死亡は、自宅に含まれている

出典)厚生労働省「人口動態調査」

図表 2-4-3 最期を迎える場所～希望と現実



資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「平成22年人口動態統計」及び「安心と信頼のある「ライフエンディング・ステージ」の創出に向けた普及啓発に関する研究会報告書」（経済産業省）より

# 函館市の人口と高齢化率

人口

258,616人

高齢者数

89,568人

高齢化率

34.6%  
(2019.1現在)

37.3%  
(2025年予想)

全国 27.7% (H29.10時点)

北海道 30.5% (H30.1時点)

# 【在宅医療推進】

○医療費の削減

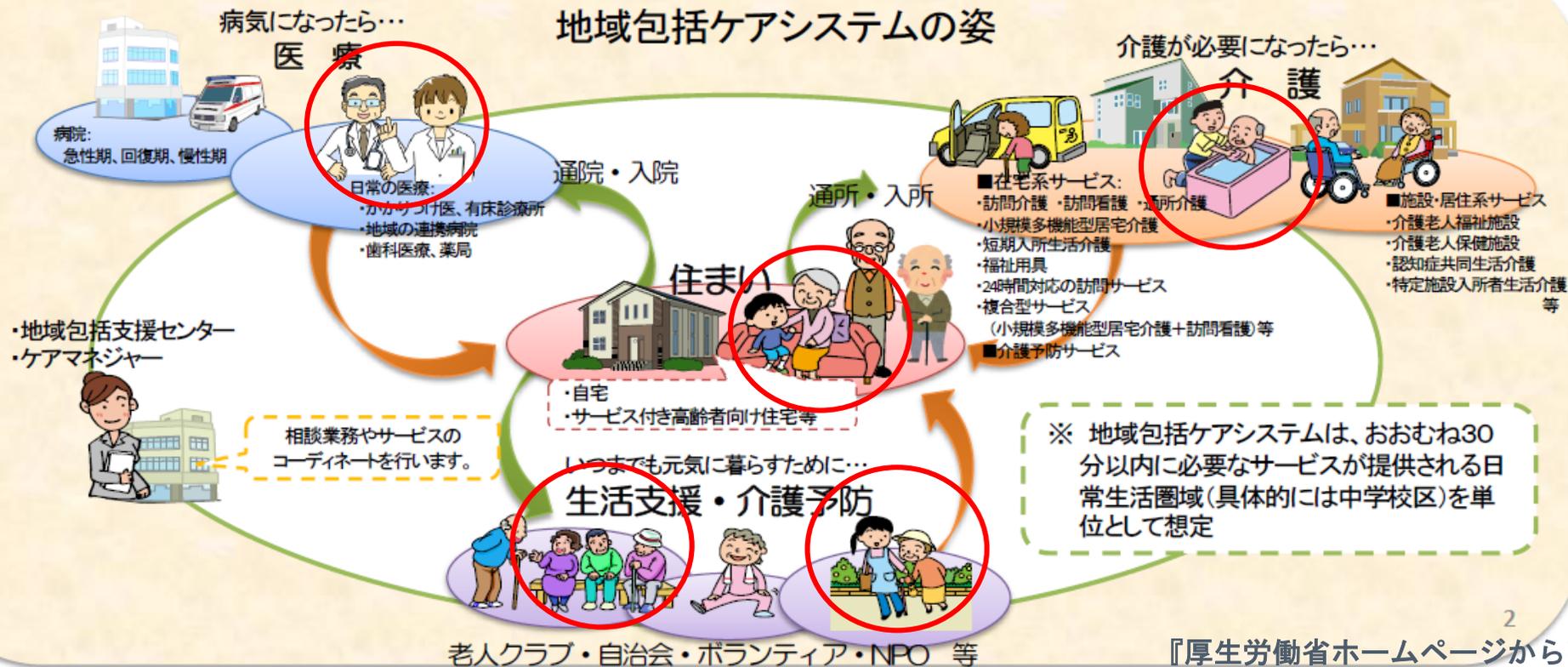
○家で過ごすことの素晴らしさの再  
認識



# 地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築を実現。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差。
- 地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。

## 地域包括ケアシステムの姿



# 在宅医療・介護連携推進事業（介護保険の地域支援事業、平成27年度～）

- 在宅医療・介護の連携推進については、これまで医政局施策の在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療推進事業（平成25年度～）により一定の成果。それを踏まえ、介護保険法の中で制度化。
- 介護保険法の地域支援事業に位置づけ、市区町村が主体となり、郡市区医師会等と連携しつつ取り組む。
- 実施可能な市区町村は平成27年4月から取組を開始し、平成30年4月には全ての市区町村で実施。
- 各市区町村は、原則として（ア）～（ク）の全ての事業項目を実施。
- 事業項目を郡市区医師会等（地域の医療機関や他の団体を含む）に委託することも可能。
- 都道府県・保健所は、市区町村と都道府県医師会等の関係団体、病院等との協議の支援や、都道府県レベルでの研修等により支援。国は、事業実施関連の資料や事例集の整備等により支援するとともに、都道府県を通じて実施状況を把握。

## ○事業項目と取組例

### （ア）地域の医療・介護の資源の把握

- ◆ 地域の医療機関の分布、医療機能を把握し、リスト・マップ化
- ◆ 必要に応じて、連携に有用な項目（在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等）を調査
- ◆ 結果を関係者間で共有



### （エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

- ◆ 情報共有シート、地域連携パス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- ◆ 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

### （キ）地域住民への普及啓発

- ◆ 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催
- ◆ パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- ◆ 在宅での看取りについての講演会の開催等



### （イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ◆ 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討

### （オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ◆ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援。

### （ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- ◆ 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

### （カ）医療・介護関係者の研修

- ◆ 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得
- ◆ 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催等

### （ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- ◆ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

# 函館市医療・介護連携支援センター

人生の最後まで  
住み慣れた地域で  
自分らしい暮らしを  
続けられるように



# センターの事業内容

- 1 地域の医療・介護の資源の把握、情報提供
- 2 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築
- 3 医療・介護関係者の情報共有の支援
- 4 医療・介護連携に関する相談支援
- 5 医療・介護関係者の研修
- 6 地域住民への普及啓発

# 函館市医療・介護連携推進協議会



函館市医療・介護  
連携支援センター

函館市医師会  
函館歯科医師会  
函館薬剤師会  
北海道看護協会  
道南訪問看護ステーション連絡協議会  
函館市訪問リハビリテーション協会  
函館市地域包括支援センター連絡協議会  
函館市居宅介護支援事業所連絡協議会  
道南在宅ケア研究会  
道南老人福祉施設協議会  
函館地域医療連携実務者協議会  
北海道医療ソーシャルワーカー協会  
函館市保健福祉部  
(13団体)

地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討

# センターの事業内容

- 1 地域の医療・介護の資源の把握、情報提供
- 2 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築
- 3 医療・介護関係者の情報共有の支援
- 4 医療・介護連携に関する相談支援
- 5 医療・介護関係者の研修
- 6 地域住民への普及啓発

# 1 地域の医療・介護の資源の把握、情報提供

## 『在宅医療・介護連携マップ・リスト』の作成、普及

### 在宅医療・介護連携マップ

函館市在宅医療・介護連携マップ

施設タイプを選択

在宅医療 入院医療 薬局 介護(在宅系) 介護(施設・居宅系)

内科系 訪問 往診

検索条件を開く

「亀田本町」周辺 検索結果: 40件

この一覧を印刷する (40件)

在宅医療関係機関リスト

佐藤皮膚科・循環器内科医院	訪	往
斉藤内科クリニック	訪	往
ごとう内科胃腸科	訪	往
平山医院	訪	往
函館市医師会病院	訪	往
恩村内科医院	訪	往
久保田内科医院	訪	往
こにし内科・心臓血管クリニック	訪	往
弥生坂内科クリニック	訪	往
深瀬医院	訪	往
亀田病院	訪	往
飯田内科クリニックいしかわ	訪	往

地域の医療と介護をつなぐ

TEL:0138-43-3939

函館市医療・介護連携支援センター

平日8:30~17:00/土曜8:30~12:30/日曜・祝日休み  
〒041-8522 函館市富岡町2丁目10番10号 函館市医師会病院内1階

在宅医療・介護連携マップ

どの施設をお探しますか?

在宅医療 入院医療 薬局 介護(在宅系) 介護(施設・居宅系)

URL : <http://hakodate-ikr.jp>  
(スマートフォン対応)

# センターの事業内容

- 1 地域の医療・介護の資源の把握、情報提供
- 2 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築
- 3 医療・介護関係者の情報共有の支援
- 4 医療・介護連携に関する相談支援
- 5 医療・介護関係者の研修
- 6 地域住民への普及啓発



## 2 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築

### 『急変時対応シート』の作成、普及 (消防本部との協働)

急変時対応シート (Ver.2 H29R) 記に必要事項を記入の上、救急隊へお渡しください!

基本情報入力日 平成29年 8月00日

氏名	田嶋 太郎	住所	田嶋市 〇〇 町 〇 丁目 〇 番 〇 号
性別	男	生年月日	〇〇年 〇月 〇〇日
年齢	〇〇歳	入院施設名	〇〇〇〇〇〇
連絡先	〇〇-〇〇-〇〇〇〇	出身地	田嶋市 〇〇 町 〇 丁目 〇 番 〇 号
TEL	(0138) 〇〇-〇〇〇〇	TEL	(0138) 〇〇-〇〇〇〇

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください!  
重大な病気やけがの可能性がります。

下記以外の救急隊到着時  
電話で指示が  
た  
た

(例)昨日より頻回の下痢。(〇回位) 緊急対応日 平成29年 9月00日  
(例)口腔内の取物の除去、気道確保。  
〇呼吸分測値: BP 〇〇/〇〇、KT 〇〇、P 〇〇、SP02 〇〇%)

**顔**

- 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい、うまく話せない
- 視野がかける
- ものが突然二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

**手足**

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

**頭**

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないぐらゐにふらつく

**胸や背中**

- 突然の激痛
- 息が切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2~3分続く
- 痛み場所が移動する

**腹**

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある

**意識の障害**

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)
- ぐったりしている

**けいれん**

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

**けが・やけど**

- 大量の出血を伴う外傷
- 広範囲のやけど

**吐き気**

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

**飲み込み**

- 食べ物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい
- 突如ものを飲み込んで、意識がない

**事故**

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合



# 函館市医療・介護連携『急変時対応研修会』 ～介護施設等での急変時における好取組事例の報告～



# センターの事業内容

- 1 地域の医療・介護の資源の把握、情報提供
- 2 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築
- 3 医療・介護関係者の情報共有の支援
- 4 医療・介護連携に関する相談支援
- 5 医療・介護関係者の研修
- 6 地域住民への普及啓発

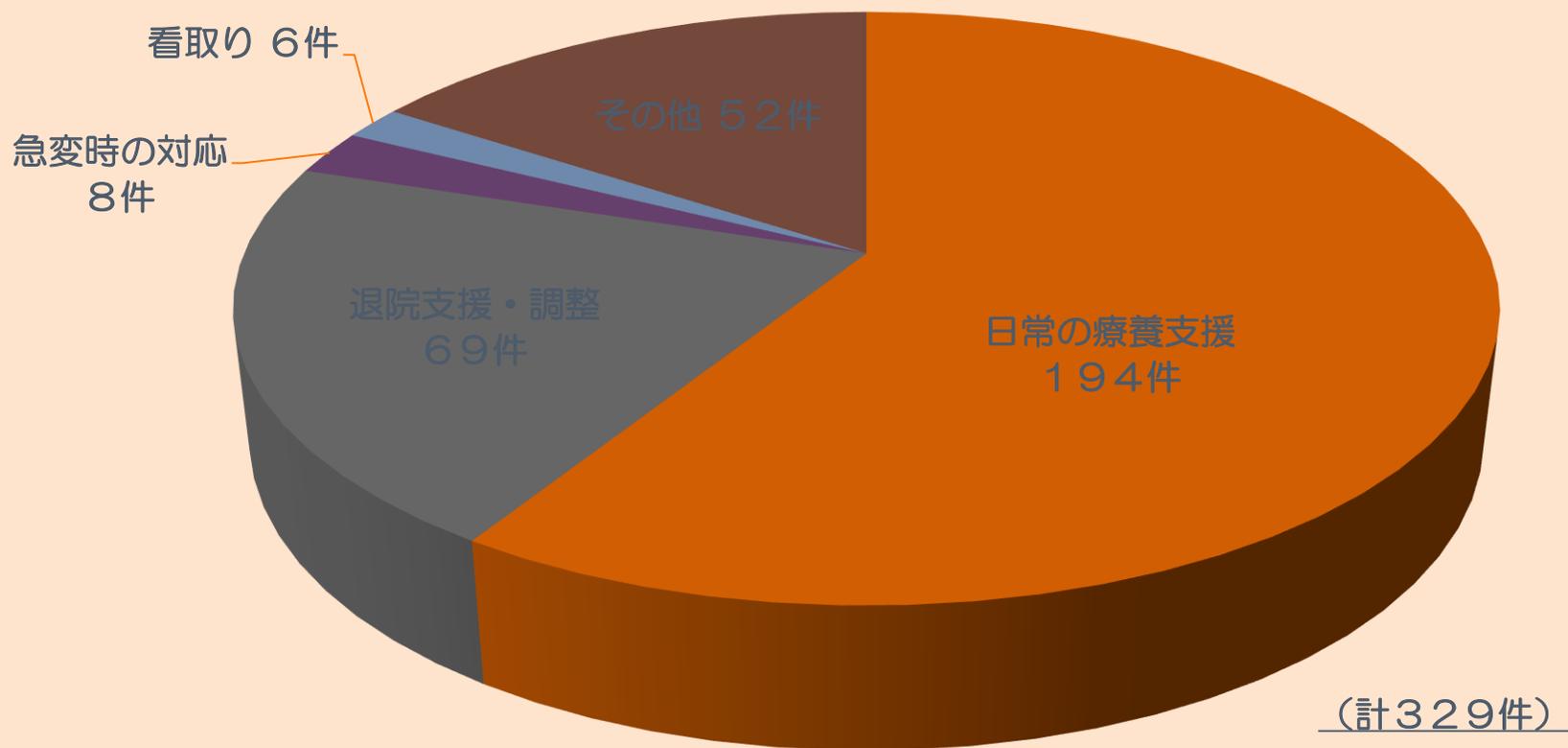


# センターの事業内容

- 1 地域の医療・介護の資源の把握、情報提供
- 2 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築
- 3 医療・介護関係者の情報共有の支援
- 4 医療・介護連携に関する相談支援
- 5 医療・介護関係者の研修
- 6 地域住民への普及啓発

## 4 医療・介護連携に関する相談支援

H29年度 相談内容別件数



# センターの事業内容

- 1 地域の医療・介護の資源の把握、情報提供
- 2 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築
- 3 医療・介護関係者の情報共有の支援
- 4 医療・介護連携に関する相談支援
- 5 医療・介護関係者の研修**
- 6 地域住民への普及啓発

## 5 医療・介護関係者の研修

# 『医療・介護連携多職種研修会』の開催

平成30年度  
第4回 函館市医療・介護連携多職種研修会

テーマ：地域での看取りを知る ～その現状とこれから～



# 『医療・介護連携多職種研修会』の開催

医療関係者向け研修



介護関係者向け研修



函館オープンカンファレンス  
開催病院との協働



# センターの事業内容

- 1 地域の医療・介護の資源の把握、情報提供
- 2 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築
- 3 医療・介護関係者の情報共有の支援
- 4 医療・介護連携に関する相談支援
- 5 医療・介護関係者の研修
- 6 地域住民への普及啓発

## 6 市民への普及啓発

# 在宅医療や介護サービス等に関する出前講座等を開催 リーフレットの作成、配付等により、理解促進を進める

### 函館市医療・介護連携支援センターとは

このセンターでは、医療と介護の両方を必要とされる高齢者が、住み慣れている地域で安心して自分らしく生活していけるように、市民の皆さまからの在宅医療などに関する不安やお悩みのご相談をお受けしたり、医療機関や介護事業所などの情報提供を行っています。また、高齢者の医療・介護に携わる関係者の方々の連携のサポートも行っておりますので、お気軽にご相談ください。

### 在宅医療・介護連携に関する相談支援

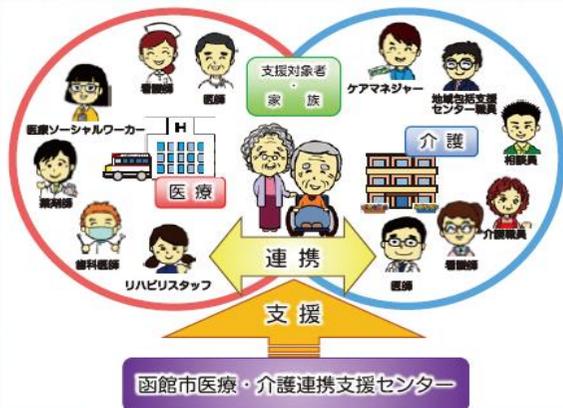
市民の皆さまからの在宅医療などに関する不安やお悩みのご相談や、地域の医療・介護関係者および地域包括支援センターなどからの連携の調整に関するご相談に対応します。

### 医療・介護関係者の情報共有の支援

地域の医療・介護関係者の連携に必要な、標準的な情報共有ツールを整備します。

### 地域住民への普及啓発

在宅医療や介護サービスに関する講演活動や、リーフレットの作成・配布などにより、地域住民へ在宅医療の仕組みなどをお知らせします。



### 医療・介護関係者の研修

地域の医療・介護関係者の連携を推進するために、多職種連携研修の企画・実施、地域での研修情報の提供などを行います。

### 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築

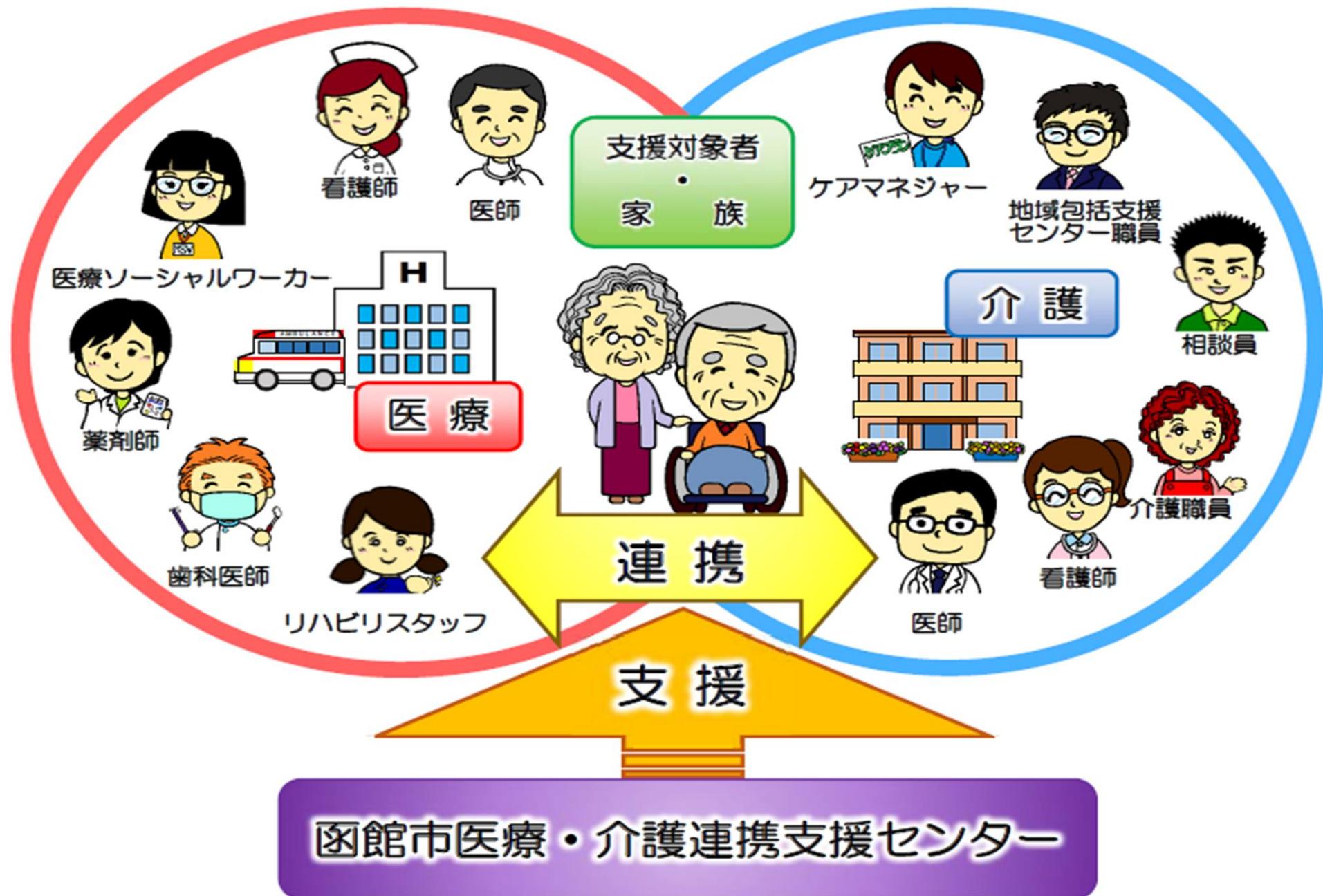
入退院支援・日常の療養支援・急変時の対応・看取りなどの様々な局面に関わり、地域の医療・介護関係者と協働し、連携の基本となる各種の仕組みや、ルール作りを行います。

### 地域の医療・介護資源の把握、情報提供

地域の医療機関、介護事業所の所在地や機能などを把握し、これまでに自治体が把握している情報と合わせて、リストまたはマップを作成、公開します。

### 市内の高齢者大学等へ出前講座を開催





# おもいやりのあふれる 地域になることを目指して

